

初等中等教育、高等教育、リ・スキリングを通じてAIを利活用する実践的な教育を強化し、広く国民が「**ベーシック（AX1相当）**」のリテラシーを身に付けられるようにするとともに、企業等でAI活用を推進していく「**ジェネラリスト（AX2相当）**」の輩出や、さらにはAIによる業務プロセスの刷新等を担う「**プロフェッショナル（AX3相当）**」の育成確保を進める。

## 高等教育

### AX実装人材の育成

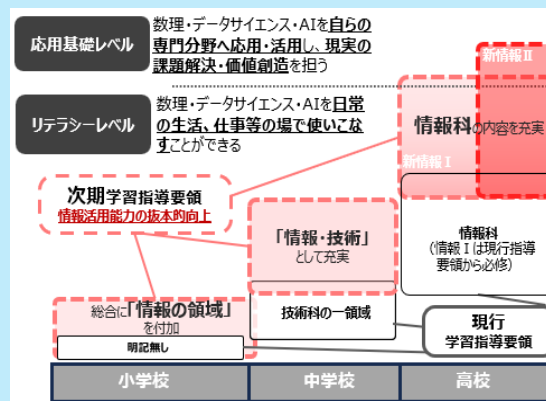
- AX実装人材の育成モデルの創出【35億円（新規）】
  - 外部機関が実施するAIの実践力を養う講座を学生が受講し、単位認定する計画を必須要件（申請要件に加える）としたうえで、AIを実践的に活用する教育を強化し、実践的なAXを推進する人材を養成する大学・高等専門学校の先進的な取組を支援。
- 質保証の仕組みの検討
  - 一定の質が保証された外部機関による講座等の活用を促進し、創出した育成モデルの質の担保を図りつつ、学生が、業務、組織の改善・改革に生成AIを実践的に活用する方法等を学ぶ環境を大学・高専に広く展開。
- 数理・データサイエンス・AI教育プログラムの見直し
  - 取組の成果も還元し、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度やモデルカリキュラムの見直しを検討。

## 初等中等教育

### 情報活用能力（AI活用含む）の抜本的向上

- 機動的な教育内容のアップデート
  - 技術の進展が著しいAIは、指導要領・解説の改訂を待たず、「生成AIガイドライン」に反映（約2年に1度※R8年度予定）
  - 指導要領改訂（約10年に1度）以降も、指導要領解説や教科書の改訂（約4年に1度）により内容を更新
  - ⇒AIなど情報技術の進展を教育活動にタイムリーに反映
- 安全かつ主体的にAI活用できる学習環境の構築【912億円（新規）】
  - 教育分野特化AIの実証研究やその基盤となる公共性の高い教育データの整備、学校のクラウドベースのインフラ整備を実施
  - ※この他、学校現場においてAI等に係る指導を行える外部人材活用の推進に向けた調査研究も実施

### ○中教審における次期学習指導要領の検討状況



※内閣府へ計上を検討している予算も含む

## リ・スキリング（社会人）

### AX化の推進に向けたリ・スキリング支援

- 大学等におけるリ・スキリングプログラムの開発強化（成長分野等におけるリ・スキリングプログラム開発事業）【337億円の内数（新規）】
  - 大学・専門学校等が地域の企業等と連携しAX推進に向けた実践的なプログラムを開発
  - 社会人に限らず幅広い年齢層が受講可能な各レベル（AX1～3）に応じたプログラムの提供（※）
  - 中小企業AX推進人材の育成・供給のため、経営者の意識改善や社内AX推進人材・伴走支援員の育成に向けたプログラムを開発・実装
- ※初等中等～高等教育段階でAX2相当まで身に付けた人材のアップスキリングプログラムや、既に働いている人材向けのAX1～2相当も含めたリ・スキリングプログラムの提供等

競争力源泉  
（自社固有データの利活用）

最低限の業務効率化

AX1～AX3：松尾・岩澤研究室「AXエバンジェリスト講座企画について」（令和8年6月30日 日本成長戦略会議 配布資料）のAX5ステップより

「A I法」(令和7年5月成立、9月全面施行)及び改定「人工知能基本計画」(令和8年7月閣議決定)に基づき、**人とA Iが協働する社会の実現**に向けて、**現場にA Iを実装していく人材**をはじめとしたA I人材の育成・確保や、人とA Iの役割分担を模索しながら、**A I社会を生き抜く「人間力」を向上できる環境を構築**する。

## 人工知能基本計画 ～日本A X、より強く、より豊かに～ (令和8年7月14日閣議決定)

A Iの利活用や開発を担う人材として、全ての国民がA I適正活用人材を目指すとともに、A Xを進める上で中核となるA I実装人材、さらに研究開発やガバナンスの担い手など、人材像を整理し、産学官で質・量の両面から育成・確保に取り組む。(第3章第4節「A I社会に向けた継続的変革」より)

### AI基本計画の5つの人材像

#### AIガバナンス人材

#### AI研究開発人材

AIに関する深い理解・洞察を有する高度な専門人材

#### AIイノベーション人材

経済・社会構造の変革や付加価値の創出を行い、課題解決を先導する人材

#### AI実装人材

現場に適したAIソリューションを提供できる、産業とAIの双方を理解した人材

#### AI適正活用人材

基礎的な知見・知識を有し適切にAIを活用できる人材

### A Iの研究開発等に係るエンジニアや研究者などの育成・確保等

- ▶ **生成AIモデルの透明性・信頼性の確保に向けた研究開発拠点形成 83億円**  
次世代生成AIモデル構築の確立に向けた一連の知見と経験をAI研究者、エンジニア等に広く共有。
- ▶ **AIプロジェクトにおける人材育成・ネットワーク機能の強化 28億円** ※理研運営費交付金の推計額  
理研AIPセンターにおいて国内外の研究機関等の連携・人材育成を強化し、我が国のAI研究を牽引。
- ▶ **AI for Scienceによる科学研究革新プログラム 1,653億円**  
AI for Scienceの波及・振興、国際連携・産学連携を通じた先導的研究の推進により、AIを科学研究に高度に活用できる人材を育成。

### A Xを進める上で中核となるA I人材の育成

- ▶ **高度統計人材育成強化拠点形成事業 2億円**  
データサイエンス(DS)・AIの基盤となる統計学について、大学等における教育・研究の中核となる統計人材の育成に係る取組を支援。
- ▶ **デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業 3億円**  
人文・社会科学系等の分野を専攻する研究科等において、専門分野に数理・DS・AI教育を掛け合わせた学位プログラムの構築を支援。
- ▶ **専門学校を活用した実践的な職業人材の高度化 102億円 (新規)**  
地域の人材需要を踏まえ、AIの活用を前提とした教育内容・カリキュラムへの転換などを含む、専門学校の教育の高度化を支援。
- ▶ **AX実装人材育成拠点形成事業 35億円 (新規)**  
大学や高専において、文理を問わず、AIを実践的に活用する教育を強化し、実践的なA Xを推進する人材を養成する先進的な取組を支援。
- ▶ **成長分野等におけるリ・スキリングプログラム開発事業 337億円の内数 (新規)**  
中小企業A X人材を含む、成長分野等のニーズに応じた人材育成を推進するため、大学・専門学校等において、産学官連携によるリ・スキリングプログラムを開発・提供することを支援。

### 情報活用能力の向上を図るなど、A I時代にふさわしい教育の推進

- ▶ **安全かつ主体的なAI活用に向けた環境整備や実証研究 884億円**  
学校現場におけるAIの適切な利活用ができるような研修や教育課題に特化した生成AIの利活用に関する実証研究の実施。また、その基盤となる公共性の高い教育データの整備や安全にAIを利活用するためのセキュリティの確保されたクラウドベースのインフラの整備を行う。
- ▶ **学習指導要領改訂を見据えた情報活用能力の抜本的な向上 13億円**  
AIを使いこなす力を含む情報活用能力の抜本的な向上に向け、教材開発や研修をはじめ必要な条件整備を実施。
- ▶ **AIを活用したグローバル人材育成のための英語教育強化事業 4億円**  
会話練習量の増加や学ぶ動機付けの強化等に繋がる、英語の授業等における効果的なAI活用モデルを構築。

**AI研究開発  
能力の強化  
(若手研究者等)**

**AXの推進  
AIスキル獲得  
(高等教育)**

**AIリテラシー向上  
(初等中等教育)**